

地 活 協 レポ ー ト 令 和 5 年 9 月

東 淀 川 区 役 所
地 域 課 (地 域)

06-4809-9509

tm0011@city.osaka.lg.jp



■ 8月に開催された夏祭りについて

新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりこの3年間夏祭りなどの各種イベントは多くの地域で中止されました(令和4年度地活協レポート9月号を参照)が、令和5年度はたくさん

の地域で開催されました。9月号は8月号に引き続き8月に開催された夏祭りを特集します。

いたかの地域で「納涼

盆踊り大会」が北江口中

央公園で開催されました

(5日)。いたかの地域

の各町会等はもちろん、

大阪成蹊大学の学生の皆

様が「フードドライブ」

のブースを出店。食品ロ

ス削減を呼びかけまし

た。

小松地域では「小松連合サマーカーナバル」

が開催されました(5日)。大変な賑わいで多くの店に行列ができていました。小松地域は例年地元小学校ではなく、近隣企業のグラウンド



で開催されています。「ご協賛ご芳名」と書かれた看板を見ると地元住民や地縁団体はもちろん、地元の病院・薬局、商店、企業、大学など、多種多様な業種の名前が18時の時点で80以上書かれており、地域一体となって盛り上げていることが分



かりました。

大隅東地域では「大隅東地域盆踊り大会」

が大隅東小学校で開催

されました(5日)。ま

だ日没前でしたが、盆

踊りを開始。4年ぶり

の開催とは思えないほ

ど揃った踊りに驚きま

した。

5日は同時間に「第35回なにわ淀川花火大会」が開催されたのにもかかわらず、どの地域

も大盛況でした。

東井高野地域では「東井高野納涼大会」が井

園が正式名称ですが、地元住民からは「運動公園」と親しまれている公園です。今回各夏祭り

でよく行列ができていたのが飲食ブース、特に

この暑さもあってか「かき氷」には長い列ができました。東井高野地域ではかき氷を出店していたブースが2店舗あり、長い列にならずにスムーズに進行できたと思えました。

下新庄地域では「盆踊り大会」を下新庄公園(5日、6日の2日間)、下新庄北公園(19日、20日の2日間)と2か所に分かれて開催されました。2か所で開催したのは、下新庄地域は阪急下新庄駅をはさんで東西に分かれているからだと思えます。今回驚いたのは、盆踊りの輪に加わっている小学生が多かったこと。これは8月号でも特集した「サマーフェスタIN下新庄」(7月29日開催)が小学校PT

A主催で行われている姿を見ているからだと感じました。

この暑さもあってか「かき氷」には長い列ができました。東井高野地域ではかき氷を出店していたブースが2店舗あり、長い列にならずにスムーズに進行できたと思えました。



この暑さもあってか「かき氷」には長い列ができました。東井高野地域ではかき氷を出店していたブースが2店舗あり、長い列にならずにスムーズに進行できたと思えました。

下新庄地域では「盆踊り大会」を下新庄公

園(5日、6日の2日間)、下新庄北公園(19

日、20日の2日間)と2か所に分かれて開催

されました。2か所で開催したのは、下新庄地

域は阪急下新庄駅をはさんで東西に分かれてい

るからだと思えます。今回驚いたのは、盆踊り

の輪に加わっている小

学生が多かったこと。

これは8月号でも特集

した「サマーフェスタ

IN下新庄」(7月29

日開催)が小学校PT

A主催で行われている

姿を見ているからだと

感じました。

この暑さもあってか

「かき氷」には長い列

ができました。東井高

野地域ではかき氷を出

店していたブースが2

店舗あり、長い列にな



東淡路・柴島地域では「盆踊り大会」が東淡路小学校で

開催されました(19日)。なごやかな雰囲気の中、子どもから年配の方まで楽しまれていました。特に盛り上がったのが、この地域の盆踊り大会の目玉でもある、打ち上げ花火。参加者は特等席から見える美しい花火を堪能していました。



この度多くの夏祭りを視察しましたが、「猛烈な暑さ」が大きな問題になったのではないだろうか。盆踊りを開始する日没後も気温は下いとお声をいただきました。「SNSの発信の仕方がよく分かった。」とレンジする話(アットマイン)を共有いただきました。後半の意見交換では、「困った」と「解決できる」をポジティブにつなぐ仕組みを作る」

次回開催は12月を予定しております。内容として映画を撮る」「区内の情報が集まる情報マップを作る」「区内でミニライトモルックなどの世界大会する」「横のつながりを作り防災や子どもをテーマにまちづくりをする」などの意見が生まれました。



◆地域課からのお知らせ

■ひがよど広報講座2023を開催しました(8月24日)

本講座は地活協の広報担当の方や、事業担当の方などを対象に、地域の広報力向上をめざし、大阪を、関西を盛り上げる」を目的に、地で行うもので、今回は**特定非営利法人やさしい**域団体・大学・企業・NPOなど、24組織34**デザイン**の穂積幸弘さんを講師にお迎えし、S名にご参加いただきました。

NSでの広報をテーマに開催しました。前半の話題提供では、銭湯跡地を活用したブ講義では、FacebookやInstagram(ワリ)で地域活性化に貢献する話(上方ビーム)など各SNSの特性や、記事を見てもらえ(ひがよどワールドマラソン)、障

えるための工夫などをお話いただきました。参加者からは「SNSの特徴がよく分かりました。交流する話(ひがよどワールドマラソン)、障

次回開催は12月を予定しております。内容

等

載

ただ



■第8回東淀川みらいEXPO「ROAD TO 2025」東淀川区のみらいデザイン」を開催しました(8月28日)

組織を越えたつながりの力で「東淀川区か

前半の話題提供では、銭湯跡地を活用したブ

交流する話(ひがよどワールドマラソン)、障

後半の意見交換では、「困った」と「解決できる」をポジティブにつなぐ仕組みを作る」

「創設100周年を記念して映画を撮る」

「区内の情報が集まる情報マップを作る」

「区内でミニライトモルックなどの世界大会する」

「横のつながりを作り防災や子どもをテーマにまちづくりをする」

などの意見が生まれました。



